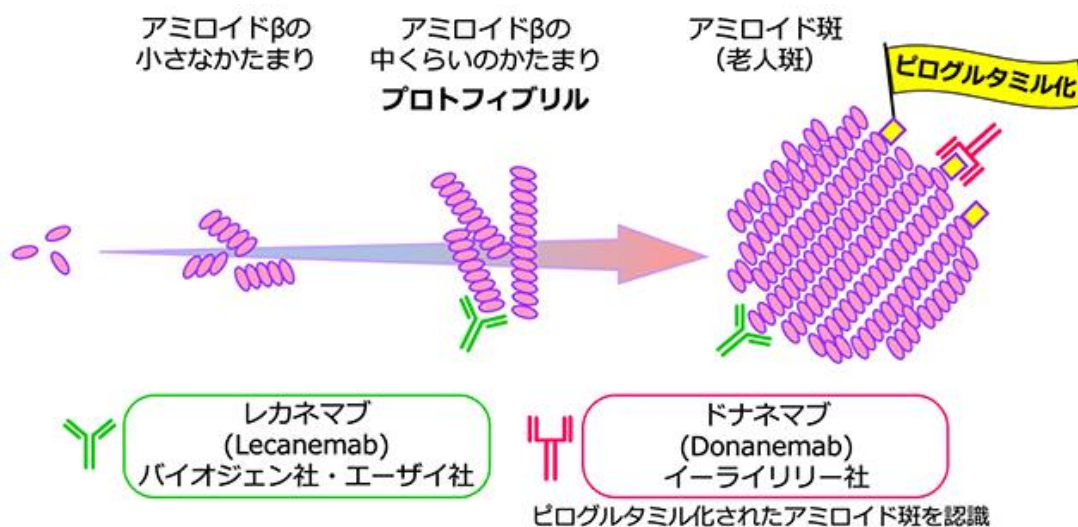


アルツハイマー病治療薬「ドナネマブ」

厚生労働省は2024年9月、米製薬大手イーライリリーが開発したアルツハイマー病(AD)治療薬「ドナネマブ」(商品名ケサンラ)について、製造販売を正式に承認しました。ADの原因物質とされる異常蛋白、アミロイド β (A β)を脳内から除去して進行を遅らせる薬としては、昨年末に保険適用された日本のエーザイと米バイオジェンによる「レカネマブ」(同レケンビ)に次いで2例目となります。



《レカネマブとドナネマブの違い》



レカネマブとドナネマブの違いは、結合するアミロイド β のかたまり(凝集体)の種類が異なる点にあります。

レカネマブは「プロトフィブリル」というアミロイド β の中くらいのかたまりと、より大きなかたまりのアミロイド斑の両方に結合すると考えられています。一方ドナネマブは、脳に沈着してからしばらく時間が経ち、「ピログルタミル化」という目印のついたアミロイド斑に選択的に結合します。

アミロイド関連画像異常(ARIA)、脳出血

ARIAは、脳のむくみや脳の一部の出血などがMRI検査で認められる画像所見のことです。これらは脳からアミロイドβのかたまりが除去される際に一時的に体液や血液が血管の外に漏れだすことで起こるといわれています。ドナネマブやレカネマブのようなアミロイドβのかたまりを除去する薬を使用すると発症する可能性があります。多くの場合、症状はありませんが、症状が出る場合もあります。なお、脳出血が見られることがあります。主な症状としては、突然意識が低下・消失する、手足が動かない、頭痛、嘔吐、めまい、言葉がでないなどがあります。

ARIAに関する症状

- 頭痛
- 錯乱(注意散漫、行動にまとまりがない)
- 吐き気
- めまい
- けいれん(手足の震え)



アミロイド関連画像異常(ARIA)を早期に発見するためにMRI検査が必要です。医師の指示に従い、必ずMRI検査を受けましょう。

ARIAの多くは治療開始24週以内に報告されています。

薬剤部:大窪

参考文献

[ケサンラによる治療を受ける方とご家族・介護者の方へ\(患者さん、ご家族及び介護者向けRMP資料\)](#) | [医療関係者向け - 日本イーライリリー株式会社](#)
[ドナネマブ、日本承認へ！アルツハイマー治療の新薬を徹底解説 効果と課題、レカネマブとの違いは？](#) | [介護の教科書](#) | [みんなの介護](#)